



# 日本住宅における壁紙・襖紙の歴史に関する研究

～次世代への継承を目指した壁紙・襖紙の記録とデータの蓄積～

## 研究シーズ概要

近年、築50年を過ぎた歴史的に価値がある住宅などの建築物が、耐久年数をはじめ自然災害による被災、家族構成の変化などによって、次々に壊されています。しかし、これらの歴史的に価値がある住宅を何らかの形で遺したいと思う人もいます。

そこで本研究は、価値がある住宅などの建築物を記録に遺す活動に取り組んでいます。特に我々の生活空間に当たり前のよう存在し貼りかえられてきた「壁紙」や「襖紙」を対象に、記録し、データを蓄積することで、次世代へ伝えてくことが目的です。

## 利点・特長・成果

住宅の壁紙・襖紙・クロスなどの内装材は、耐久年数が経つと貼り替えられ廃棄されてしまいます。剥がされた壁紙・襖紙・クロスが、保存されることはあまりありません。一方で、歴史的な価値がある建造物を保存修理しようとするとき、元々、どのような壁紙や襖紙が貼られていたか分からないということが多々起こります。

こうした当たり前のものを、データ化し残しておくことによって、ゆくゆくは歴史的建造物の保存・修復に役立てようと考えています。

## その他の研究シーズ

- 大名の国許御殿に用いられた唐紙の用例に関する研究
- 京唐紙の流通と伝播に関する研究

## キーワード 日本住居史、インテリア、壁紙、襖紙、唐紙、文様、暮らし、歴史的建造物、保存と修理

### 本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

知財活用	可	技術相談	可	共同研究	可
施設機器の利用	否	研究者の派遣	可	技術シーズ 水平展開	可

### 開発段階

5	第5段階	製品・サービス化(試売/量販)段階	2	第2段階	試作(ラボ実験レベル)段階
4	第4段階	ユーザー試用段階	1	第1段階	基礎研究・構想・設計段階
3	第3段階	試作(実証レベル)段階			

### SDGsの目標

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

12 つくる責任  
つかう責任

17 パートナリシップで  
目標を達成しよう